

JTU 第 2 種公認審判員 < 認定試験の方法と採点基準 >

全国実施日 2011 年 2 月 27 日

試験方法：

- 1) 試験問題用紙(全 5 頁:5 問+1 頁:特別ポイント作文)に解答を記入する方式です。解答欄が足りない時は、裏面も利用できます。(裏面へ続く)と書いてください。いずれの問題についても、具体例や理由を挙げて補足説明をすることができます。身近なことから個人的な展望も含め、設問に沿いながら自由な解答を期待しています。
- 2) 試験時間は 90 分です。早めに終了した場合、試験開始から 30 分を過ぎてからの退出は認めませんが、戻ることはできません。
- 3) 遅刻は、試験の開始後 30 分以内であれば受験を認めます。原則として、延長は認めませんが、やむを得ない事情があった場合は、特例を認めることがあります。

採点基準：

- 1) 最高は 150 点(30 点×5 問)+特別ポイント作文とし、75 点以上を合格基準とします。
- 2) 解答は、試験主催地で第一次採点を行い、その後、JTU 審判委員会が審査します。この結果を受けて、JTU 理事会が承認します。
- 3) 試験結果に不服があるときは、JTU 理事会で審議します。

[1] 採点にあたって

- 1) 1 問 30 点満点で計 5 問、最高点は 150 点です。さらに、特別ポイント作文(最高 30 点)を加算します。
- 2) 記述式問題は、内容を問うものです。多少の誤字脱字は許容してください。また、固有名詞については、まったく別物でなければ許容範囲とします。ルールブックでは「競技者」を正式としていますが、一般的に使われる「選手」を可とするなど。
- 3) 受験者はすでに第 3 種を経た立派な審判経験者です。解答で述べられた審判員の生の声を生かし、不適当な箇所が見受けられたら、それを年間の課題として取り組んでください。
- 4) 解答例の他にも様々な解答があります。際立った内容であっても、論旨が明快であれば、評価するものと考えてください。また、格別にユニークな意見はプラス点を与えるものとします。
- 5) 以上を基本に採点してください。特筆される解答は、広く告知する予定です。本名を出す場合は、本人の了解を得るものとします。

[2] 配点の考慮ポイント

- 1 問 30 点を 5 段階に分けながら、特筆する部分にはプラス点を与えるものとします。
- 1) 理解度：ルールや社会通念に即した内容であるか。
 - 2) 表現度：技術的なこと、大会の実情、選手としての経験など、表現が豊かであるか。
 - 3) 熱意度：トライアスロンと関連複合競技の発展への熱意が感じられるか。
 - 4) 充実度：全体の作文量が充実しているか。文書や文字の正確度はどうか。
 - 5) 審判適正：審判員としての適正な内容が含まれているか。